

発 言 通 告 書

令和3年9月8日

松山市議会議長 若江 進 殿

松山市議会議員 清水 尚 美

次のとおり通告します。

発言順位	1 1	受領日時	9月 8日 午後 4時 55分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式	一括方式	発言時間	約 45 分
答弁を求める者	・市長 ・農業委員会会長	・教育長 ・選挙管理委員会委員長 ・監査委員	・公平委員会委員長 ・公営企業管理者	

No.	件 名	発 言 の 要 旨
1	コロナ禍における女性への影響について	(1)コロナ禍における女性の雇用状況について (2)コロナ禍における女性の就労支援の本市の認識と現状について (3)デジタル技能の取得を促し、再就職を支援する取組について
2	女性の視点からの防災について	(1)地方防災会議の女性委員の割合を3割にすることへの本市の認識について また、2025年の目標達成に向けた今後の取組について (2)本市の男女共同参画推進センターは災害時における役割をどのように想定しているのか。 (3)令和2年5月に示された「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」をどのように周知し活用していくのか。
3	家庭内感染により親が重症化した際の子どもの支援について	家庭内感染により親が重症化し子どもが取り残された事例はあるか。 また、今後このような事案が起こった際の子どもへの支援をどのように考えるのか。
4	生理の貧困への支援について	他市で実施している生理用品の無料配付への取組について
5	ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種(HPV)ワクチンについて	(1)昨年10月に本市からHPVワクチン定期予防接種の案内をした高校1年生の女子で本年3月末までに接種を終えた人数について また、接種対象期間内に打ち終えられなかった方はいたのか。 (2)本市もHPVワクチン定期予防接種の対象期間を高校2年生まで

